

## 四條畷学園小学校

### 平成21年度 小学校における学校評価（自己評価）の結果報告

平成21年度に小学校において実施した学校評価（自己評価）の結果を報告致します。

#### ■学校評価の実施方法

- 1) 実施時期 平成21年12月
- 2) 調査対象 小学校本務教員
- 3) 評価項目 教育活動全般および学校運営に係わる項目について自己評価を行いました。
- 4) 評価方法 各項目について、5段階評価を行いました。

- 5：その通りである（達成度80～100%）
- 4：どちらかといえばその通りである（達成度60～79%）
- 3：どちらともいえない（達成度40～59%）
- 2：どちらかといえば違う（達成度20～39%）
- 1：全く違う（達成度0～19%）

#### ■評価の重点項目

- ◎建学の精神 報恩感謝
- ◎教育の目標 尊敬される人間の育成
- ◎教育方針 個性の尊重 ・ 実行から学べ ・ 明朗と自主
- ◎平成21年度の学校目標

##### 環境・設備の充実

- 花壇の整備
- 遊具の点検
- 清掃の強化
- 自動車送迎の安全策の強化

##### 規律遵守・意識レベル向上

- 公共交通機関でのマナーの向上
- きれいな言葉遣いの指導
- 整理整頓の指導
- 挨拶の習慣づけ

##### 教育レベルの向上

- 音楽科教育のレベル向上
- 英語科教育のレベル向上
- 算数科教育のレベル向上
- 歯磨き指導

##### 各課外教室のレベルアップと充実

- 検定試験受験の奨励
- 保護者ニーズへの適応

## ■ 概 評

平成21年度の評価項目を教員に対しても保護者や高学年児童向けの項目とほぼ同じものにしました。集計後、教員の自己評価と保護者、児童の評価の結果を比較すると、高得点の項目や低い得点の項目といった設問ごとの得点のばらつきが非常に似かよっているということが分かりました。また、教員と保護者・児童との意識のずれも見えてきました。

学習面についての集計では、「授業をよりよいものへと改善していこうとする教員の姿勢」が見えております。しかし、まだまだ経験の浅い教員が多く、児童への学力向上ややる気にまで結びついていないと思われます。引き続き、児童の学習面での意欲や学力向上のため、全職員一丸となって努力していく所存です。

22年度も、OJTを軸とした学校のサポート体制を充実し、経験の浅い教員のスキルアップをはかり、学級でのばらつきがない進捗と単元目標到達をめざします。また、平成23年1月に全国に向けた公開研究会を予定しており、それに向けた校内研究を年間15回程度計画しています。

前年度に引き続き課題となっているのは、躰面の強化です。児童、保護者に躰の指針、「そつぎょうするまでに みんなが できるようにすること」を配布し、常にその指針に立ち返る指導を継続しています。指針を配布するようになって、本校の躰指導の考え方が保護者に伝わり、家庭と学校の連携のとれた指導が可能になりました。私自身、年を追うごとに、躰の方針と実践の効果が子どもたちに浸透していることを実感しています。

今後はその成果が数値に表れるよう、継続して指導に当たる必要があります。

保護者の評価と教員の評価にずれがあったのが、「成績および生活状況の通知」に関する設問でした。そこで、本年度より成績通知の形式を一部変更し、より保護者の期待に応えることのできる方法を検討しております。

## 小学校 学校評価アンケート(教員)

NO.	質問	
1	学園小に勤務してよかった	4.8
2	学園小は子どもたちの学力向上を目指して努力している	4.5
3	学園小の教え方は、くふうされていて、わかりやすいと思う	4.5
4	子どもたちは、まじめに授業を受けていると思う	4.3
5	学園小の行事は子どもたちにとって楽しいと思う	4.8
6	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだと思う	4.2
7	学園小は、きまりやマナーについてきちっと指導している	3.7
8	子どもたちは、きまりやマナーを守っていると思う	3.5
9	子どもたちは、児童会活動をがんばっていると思う	4.3
10	子どもたちは、学校で友達とうまくいっている。	4.4
11	先生たちと子どもたちとは、うまくいっていると思う	4.5
12	学園小は、けんかやいじめがあつたら、すぐに対応している	4.6
13	新しい制服(ベ 補)は、いいと思う	4.2
14	学園での習い事やスクールは楽しい	4.8
15	学校の施設設備は充実している。	3.4
16	学校の美化は、行き届いている	4.2
17	成績や生活状況の通知は行き届いている	4.2

<注> 評点は5段階評価の平均点で表記。